

宗内寺院紹介 **17**

医王山
毛^{もう}
越^{つう}
寺^じ



嘉祥三年（八五〇）慈覚大師円仁の開山。後に藤原二代基衡公が七堂伽藍を建立、三代秀衡公が社堂坊舎を造営、その規模堂塔四十、僧坊五百を数えた。その後度重なる災禍に莊嚴無比の往時の伽藍はすべて失われた。しかし、現存する堂塔、回廊の礎石・基壇などは平安時代の伽藍様式を探る上で極めて貴重な遺構であり、学術的重要性と庭園の優れた景観から特別史跡・特別名勝に指定されている。また平成二十三年、平泉の文化遺産の構成資産として世界遺産に登録された。

現在毛越寺は、一山十八坊で法務を営んでいる。最も重要な法会の一つ、春祈禱の祭礼・二十日夜祭では、一山総出仕で重要無形民俗文化財指定の古式常行三昧供が修され、延年の舞が奉納される。

医王山 毛越寺

住所／〒029-4102 岩手県平泉町字大沢58
 電話番号／0191-46-2331
 拝観時間／8:30～17:00(11月5日～4月4日は16:30まで)
 HP=www.motsuji.or.jp